

本市の「住みたい・住み続けたいまち」は言葉だけになっていないか！

石渡 登志男 議員



東洋経済新報社が毎年「住みよさ」ランキングを発表している。県内37市のうち、本市は第36位。下から2番目。全国791都市において第737位。下から54番目。これからは反転攻勢、積極的な施策を打ち出し、近隣自治体からも一目置かれるようなそんな市民思いの市をつくり上げていくのではないかと。以前、今の場所とは違うある場所に突然津波避難タワーを設置するという事があった。その場所は相応しくない。だから私は激しく噛み付いたのだ。私が一貫して訴え続けてきた旧第2保育所跡地にタワーが遂に建設されるようだが、こんな回り道などせず設置できたはず。では、その進捗状況はどうなっているか。答 旧第2保育所跡地に建設します。現在、実施設計を進め、平成28年度

子育て支援、高齢者ケアシステム、観光、安全対策、教育施設の充実

森 建二 議員



1、高齢者福祉について 問 「地域包括ケアシステム」の構築が始まった。ボランティアの役割が増える。応募状況、年齢層は。答 9名の養成研修を修了した。50代1名、60代3名、70代5名。問 千葉市で昨年末「在宅介護の訪問レッスン」を始めた。ボランティアに対するセミナー、講習など。答 介護用品購入費用の助成や認知症家族の集いを実施。今後ボランティア育成に力を入れる。2、教育行政について 問 この1月「子ども子育て会議」で、認可外保育所等に対する補助制度が新設。市内の保育環境は「過酷」だ。認可外の保育所について、把握しているか。答 市内の認可外施設は2箇所、50名の児童。入所保留中の児童は市内

ているが、26年9月の市の回答は、私流に言わせれば「金はかかるし手間もかかる。だからやりたくない。」そう受け取った。市民の健康には金をケチり、道の駅等の大型事業には惜しみなく金を使いたいと市は思っている。何か違っていないか。答 活動量計を使った研究成果が出ているので、正しいウォーキング法を介護予防教室等に取り入れます。問 導入するのかどうか、よくわからない。導入に踏み切るべきである。問 今度何度も訴えてきた駅前広場のレイアウト、見直すべきではないか。やらないという口実を考えるのではなく、何とか知恵を出し合い進めていくのではないかと。また、交通誘導員も配置すべきである。答 今後は混雑緩和、安全性の向上を目指すため、抜本的なレイアウトの見直しを図ります。また、混雑時間帯には交通誘導員を配置します。問 ただし、市民の一般車両を締め出してはうまくいかない。その点を考えていただきたい。

に70名、その内6名が現在、認可外保育施設を利用して居る。問 認可外を選択して事故が起きたら本末転倒だ。認可基準は。答 市内の認可外施設ではここ数年事故等は特にない。地域型保育では、国や県の基準に沿って市が認可を行うが、保育士の配置には慎重な対応が必要と認識している。問 保育士の月給とは、厚労省によると、一般企業に比べて10万円安い。給料財源は公的な補助金と、親が払う保育料。公定価格で決まっているので、事業者側が勝手に定められない。つまり補助金が保育料を上げないと保育士の給料は上がらない。保育士の募集があっても有資格者が応募しない悪循環。未来の大網白里市を担う子供達のために、前向きな動きを求める。

答 民間の保育士の処遇改善について、2月補正予算で対応したが、適正な支給が行われるよう指導に努める。併せて保育士の処遇改善策をはじめ、国の保育負担基準の見直し等についても要望して行く。3、観光行政について 問 外国人観光客は2015年、前年47.1%増の1,973万7,400人。日本政府観光局の統計史上伸び率・数とも最高だ。外客誘致のためホームページ（HP）拡充は不可欠。活用状況は。答 市のHPは、昨年12月、外国語機能の向上をはかった。二ヶ月経過し、アクセス数は19万9,279件。外国からのアクセスは全体の約1.2%、国別としては、アメリカ、ロシア、中国の順。この他、観光誘致として「民泊」オンライン予約事前キャンペーン招致、安全対策として「ゾーン30」について「子育て世帯の経済負担を軽減するための給付事業」「大網小学校校舎の増築」について質問しました。

将来に責任の持てるまちづくり

堀本 孝雄 議員



問 津波発生時に緊急避難場所となるブラセル九十九里、白里ダイヤモンドマンションの整備状況はどうか。答 両施設については、避難者が安全に避難ができるような方法で、具体的な協定を締結している。プラセルについては、外階段の設置及び防水シートの張り替え等にあたり、実施設計を行って来年度早々に工事着手する予定です。問 北今泉、南今泉、四天木地区の各地区に1本ある歩行者優先避難道路の整備進捗状況はどうか。答 蓄電池式LED誘導灯43基、看板9カ所は設置予定であり、来年度は、誘導灯51基、看板6カ所の設置を予定している。問 避難道路については、来年度以降も順次予算化し整備していても構わない。津波避難計画にある避難の丘（築山）3カ所は、具体的にどのように進めていくのか伺います。答 3カ所の築山については、平成28年度から基本設計に着手し、具体的な内容については、地元の方々と協議しながら早期の整備に向け取り組んでいきたい。問 白里海岸の養浜、浸食対策について、本市はどのように取り組んでいるのか。答 本市も所属している南九十九里浜保全対策協議会から、千葉県に対して消波ブロックを利用した離岸堤などの実現、また国による直轄事業としての採択についての要望をしているところである。本市としても、引き続き関係市町村と協力して強く要望していきます。問 本市の空き家の件数及びその対応はどのようにしているのか。

年金生活者等支援臨時福祉給付金 3万円が支給されます。

前之園 孝光 議員



私ども公明党は、平成28年度予算編成に關し121項目、要望書を提出させていただいております。また、一般質問の中で提案や要望してあった課題が多く新規事業として盛り込まれていることに敬意を表します。問 国の2015年度補正予算の活用について伺います。答 65歳以上で住民税が非課税の高齢者を対象に1人あたり3万円を支給する年金生活者等支援臨時福祉給付金が実施されます。低年金の高齢者の生活を支援し、景気の下支えにつながることを期待しております。本市における対象者、総事業費、今後の実施計画について伺います。答 対象者につきましては、平成27年度における臨時福祉給付金の支給対象者で、かつ平成28年度中に65歳以上となる方です。支給対象者数といたしまして約4,800人、総事業費として約1億5,000万円を見込んでいます。申請の受付期間につきましては4月18日から7月19日の3カ月間を予定し、5月中旬から支給を開始します。問 学校の耐震化事業、トイレ改修、空調設備、クーラー等の予算の活用について、どのように検討しているのか伺います。答 学校の耐震化等につきましては、国の補正予算において非構造部材の耐震化や給食施設の整備等が盛り込まれていることから、平成28年度当初予算に計上した大網東小学校及び増穂中学校の屋内運動場の天井落下対策工事並びに大網中学校給食調理室の改築工事について、これを活用することを検討しているところでございます。また、トイレの改修や空

答 総務省統計局の調査によると平成20年度が1,400件、平成25年度が1,700件で約300件の増加となっている。さまざまな方法で情報提供を呼びかけており、その情報があった時、現地確認して、条例に基づいて指導等の方法で対応している。

問 昨年5月より空き家対策特別措置法が全面施行されたが、今全国ではこの機会に空き家バンクを創設しての移住促進策、ゲストハウスへの転用などの取り組みを進める自治体もある。本市も乗り遅れないようにしっかりと取り組んでもらいたい。問 白里地区を含み、交通空白地域、不便地域の解消についてどうか。答 さまざまな地域から公共交通の改善に対する要望はあるので地域の状況を踏まえながら利便性の向上に向けて検討を続けていきたい。この他に市営住宅の修繕を含む今後のあり方、産科誘致の方針についての質問をいたしました。

問 地方創生を後押しする加速化交付金1,000億円は、一億総活躍社会の実現につながります。①雇用の創出、②人の流れの転換、③まちづくりを進める事業に活用できます。本市における取り組みについて伺います。答 2月15日に実施計画について取りまとめ、県に提出したところで、本市の提出した事業としては、①大網駅周辺や駅前広場における整備の検討、整備費用を対象とする大網駅周辺地区活性化促進事業と②市プロモーション推進事業などを対象とする魅力発信加速化事業の2事業となっております。その他、①児童扶養手当に係る多子加算額の増額、②市街地調整区域における土地利用方針及び地区計画運用基準について、③財政の健全化等について質問いたしました。